

第3回

いきいき健康セミナー開催報告

開催日時：2016年2月20日(土) 参加無料

テーマ：人生のとじ方

講師：八田一郎先生



今回は、前院長の一郎先生の講演、
「人生のとじ方」という難しいタイトルでしたが、
大変意味深い講演になりました。
要点をまとめるのは難しいですが、印象に残った
言葉とフレーズをご紹介します。
なお、満員のため入場できなかった方には
申し訳ありませんでした。
後日に、資料を郵送させて頂きご勘弁願いました。

講演内容

- ① 高齢者の増加と京都府のアンケート調査から
—終末期の看取り対策の検討—
- ② いま求められていること
- ③ 終末期の医療の在り方
- ④ 死の迎え方

講演内容

- 5 死生学
- 6 生前(事前)の意志ーリビングウィル
ー尊厳死協会のことー
- 7 エンディングノート、「もしもノート」
- 8 結びの言葉ー「老いの賜物」

印象に残ったフレーズ

- 老いの重荷は神の賜物、古びた心に、エンディングノートを記しながら、すこしずつ最後のみがきをかけていきましょう ー受容と覚悟ー
- お世話くださる方々に感謝し、天国目指して、一歩、一歩、大切に歩みましょう

印象に残ったフレーズ

- 最後は祈り、
お世話になった方々の幸せを願って
エンディングノート（もしもノート）の勧め
- リビングウィルの勧め
- 最上のわざ（ヘルマン・ホイヴェルス）

恒例のクイズ

設問 1

京都府が高齢者増加社会に向けて
対策として、取り組んでいる3本柱は？

赤

メタボ対策
認知症対策
地域のリハビリの支援

青

認知症対策
地域のリハビリの支援
看取り対策

恒例のクイズ

設問 2

終末期の苦痛のケアは？

赤

痛みや息苦しさなどの
苦痛を十分に
取り除いてあげる

青

痛み、息苦しさなど、
身体的な苦痛だけではなく、
心配なこと、悩みなどすべて
の苦痛が軽くなるように支える

恒例のクイズ

設問 3

看取りに必要なことは？

赤

看取りの支援者は、まず能率を優先し、ゆとりがあれば、本人の希望をかなえてあげる

青

看取りの支援者は、能率も必要だがまず本人の意思を尊重し、最後まで尊厳を保つよう支援する

恒例のクイズ



成績優秀、ジャンケン大会で「もしもノート」を
もらわれた方々、おめでとうございます！

第4回

いきいき健康セミナー

偶数月開催

申込不要/参加費無料

日時

4/16(土) 14:00~15:00 (入場13:30~)

来院された順にご案内し、混雑時は整理券を発行します。
今回も混雑が予想されますのでお早めに起こしてください。

テーマ

あなたにもできる適塩料理 (仮題)

講師

厚生労働大臣功労賞受賞栄養士

ひがしもり よしこ

東森 佳子先生



場所

八田内科医院 待合室

第5回は**2016年6月**です